

奥秋賞を受賞して

札幌医科大学麻醉科学講座 宮下 龍

去る2015年5月15日、16日に札幌で開催されました第26回日本臨床モニター学会において、非侵襲的ヘモグロビン測定精度に関する筆者らの論文が、奥秋賞に選出されました。優秀な論文に授与される奥秋賞を受賞したことは大変励みになるものであり、このような栄誉ある賞を賜りましたことに深く御礼申し上げます。

医療の臨床現場において、生体情報を正しく解釈し表示するモニターの役割は非常に重要であることは言うまでもありません。モニターを日々使用する立場にある我々は、その特徴を理解することに努め、適切な効果をもたらしているのか検証する責務を負っていると考えます。今回の非侵襲的ヘモグロビン測定の研究では、初期測定値を元にキャリブレーションを行うことでより高精度の測定が可能になることを示しました。最新の非侵襲的ヘモグロビン測定機器には、すでにこのキャリブレーション機能が搭載されています。モニター使用者である我々の研究が少しはお役に立てたと信じ、今後とも様々なモニターの可能性を探り研究を重ねていきたいと存じます。

最後になりましたが、小生にこのような研究発表と受賞の機会を与えて頂きました山蔭教授、教室員の皆様、御助力賜りました関係各位の皆様に心より感謝の意を表し、深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



受賞論文

「Improved non-invasive total haemoglobin measurements after in-vivo adjustment」 Anaesthesia. 2014 Jul; 69 (7) : 752-6



宮下 龍先生 発表風景